

私のすすめるこの1冊

岡田 雄樹（体育学科 准教授）

『実力も運のうち 能力主義は正義か？』

マイケル・サンデル（著）、鬼澤忍（訳）

一般論ですが、幸福になるためにはお金持ちになることが求められます（ある一定の所で幸福度とお金の関係は頭打ちになると言われていますが）。そして、お金持ちになるためには、よい会社に就職が必要となります。よい会社に就職するためには、よい大学、よい高校に。よい高校に入るためには中学校1、2年生の頃からあるいは小学生の頃から、よい準備が必要となります。ということは、生まれてから誕生日を12、3回迎えたころにはそのような将来を見越した準備、判断、能力が必用とされるのです。そのように「恵まれた」、「環境」や「能力」を身につけた人、つまり「エリート」は誰のおかげでそのようになったのでしょうか。そりゃ「当人の努力」でしょう？

本書の著者マイケル・サンデルは、それを「たまたま（運）」だと位置づけています。ただ、このような意見をエリートは嫌います。社会で頂点に立つ人々は、自分の成功は道徳的に正当なものだと思い込みたがり、能力主義の社会において、勝負は自らの才能と努力によって成功を勝ち取ったと信じてやみません。エリートは庶民を見下し、差別をしていることを認めない。それどころか見下しに気がついていないステルス差別が発生していると言います。かつての階級社会から能力社会によって大きな差別は撤廃されたと思われていますが、この能力主義こそがまた新たな差別を呼んでいたのです。エリートは、男女差別や人種差別、障害者差別、性的マイノリティー差別には厳しいよ

うです。なので「こんな私が人を差別するはずがない。差別するのは教養がない低学歴者だ」と疑わないようです。先天的なものは変えようがないので差別はいけない。ただし、能力（学歴や資格など）は努力によって変えられる。生まれた環境が良くなかったエリート（能力主義者）はなおさら、「時間はみんな平等に与えられているじゃないか、義務教育はみんな受けられたではないか。私の家は貧しかった。だから私は努力をした。みんなもやればできる。できないのは環境を言い訳にしているあなたのせい」とよりステルス差別が働きます。私は体育の人間です。私が「前方倒立回転跳びができるように知識と時間を平等に与えた。できないのはあなたのせい。あなたはそのための努力をしなかった」と伝えたら、皆さんはどう思うでしょう。いくら努力をしてもできない人はいるし、一度見たらできてしまう人もいます。また、できるまで努力できることも才能です。才能も先天的ですが、努力できる才能も先天的だと言われています。そして、生まれる時代や、家族、場所、環境は選べないのです。そんな能力は「誰のおかげ」でしょうか？

それではこのような社会をどのようにしたら良いのか？はこの本を読んでいただきたいと思います。社会で生きる私たち、教育に従事する私たちにとって、とても考えさせられる本だと思います。



在学生アンケート 2025 を実施しました！

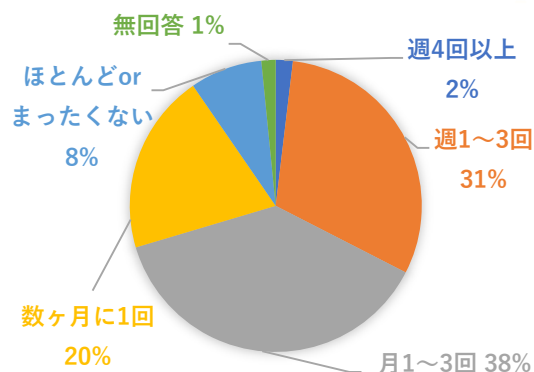
図書館に関する在学生アンケートを 2025 年 3 月 24 日から 4 月 30 日まで紙と Web で実施しました。
合計 375 名の皆さまからご回答いただきました。



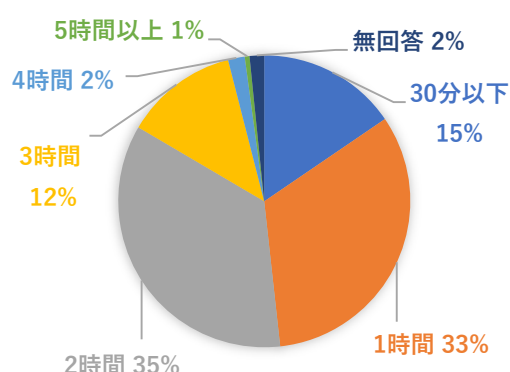
ご回答ありがとうございました。

今後の図書館サービスの改善に利用させていただきます。
また、2026年3月から4月にも実施予定ですので、ご協力
お願いいたします。

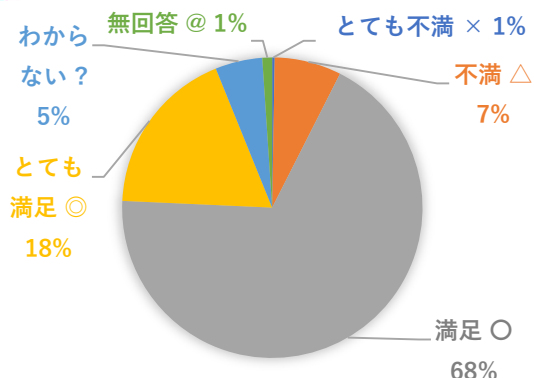
📖 図書館をどれくらい利用しますか



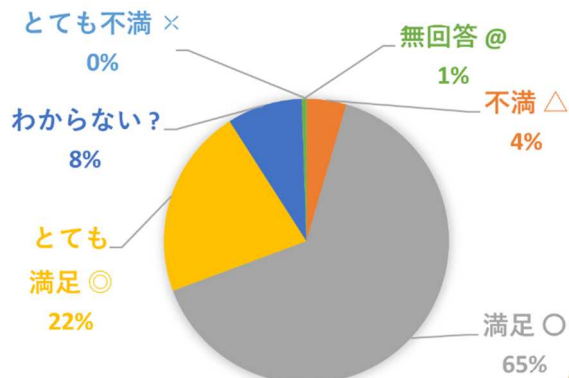
🕒 図書館の1回当たりの滞在時間はどのくらいですか



📚 図書館には必要な資料がある



👥 学習・研究などに必要なサービスが提供されている



"Special Request Weeks"の結果を 展示します

10/30～11/16に開催した特別リクエストに参加いただき
ありがとうございました。

購入した本は下記のとおりです。

- ・『清明高校の謎を解く!』明石書店, 2025
- ・『プロパガンダ』春秋社, 2025
- ・『私は私のままで生きることにした』ワニブックス, 2019
- ・『傲慢と善良』朝日新聞出版, 2022
- ・『きみを嫌いな奴はクズだよ』書肆侃侃房, 2016
- ・『大衆はどう国民化されたのか』清水書院 2025
- ※『対話的教育論の探究』は所蔵しています(西館 2 階 371.6||TA 84)

貸出準備ができ次第、1階渡り廊下に展示します。お楽しみに！



図書館蔵書点検に伴う一部利用制限・ 臨時休館について

附属図書館において、館内資料の蔵書点検を以下のとおり
実施します。点検に伴い、一部利用制限および臨時休館が
ありますのでご注意ください。

<書庫の閉鎖>

期間:令和 7 年 12 月 15 日(月)～12 月 19 日(金)

<臨時休館>

期間:令和 7 年 12 月 20 日(土)

※書庫の閉鎖中に書庫内資料が必要な場合は、カウンター
にてお申し込みください。

ただし、作業状況により即時対応できない場合があります。
あらかじめ利用したいものがわかっている場合は、蔵書点検
前に貸出手続きをするなど、余裕をもってご利用ください。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第49回のおしらせ

YouTubeで12月中旬に公開予定

【講師】西山 由美

(教職キャリア高度化センター 教授)

【テーマ】大丈夫！ ほほ何とかなる！

＜概要＞「大丈夫です。ほほほ何とかなります。」は私から皆さんへ送るエールです。38年間、何とか「先生」という仕事を続けることができました。「辞めたいと思ったことはありますか？」と尋ねられたら、「もちろんあります。」と答えますが、なぜ辞めなかったのか。それは、幾度となく訪れた困難な状況でも、そこに小さな発見を見出したからです。若い頃は、いつかは迷いなくどのような困難にも対応できるベテラン教員になれると信じていました。しかし41年経った今でも迷いながら進んでいます。そんな私から、少し迷っている人、不安に感じている人…皆さんへエールを送ります！

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

※今までの回も
視聴できますので、
ぜひご覧ください



学修相談カウンター

レポートや卒論、教育実習、就活など
さまざまな相談を受け付けています。

【場所】北館2階ラーニング・コモンズ

Web フォームもあります。

時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する…などの場合はフォームでの相談も受け付けています。



Web 相談フォーム



図書館講習会やデータベースのテキストを設置しています

図書館講習会で使用しているテキストやデータベースの利用方法についてのテキストなどを、北館2階ラーニングコモンズに設置しています。



気になるテキストがあれば、ご自由にお持ち帰りください。



リクエストと投票で話題の本を読む

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！

リクエストや投票にぜひ参加してください！

【投票期間】11月10日(月)～12月13日(土)



保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居などを、11月4日(月)から12月6日(土)まで南館1階の児童書コーナーにて展示しています。

展示報告

11月7日(金)から14日(金)まで、図書館1階西側ゲート前にてイラストサークル KITE による作品集の展示がおこなわれました。

冬季休業に伴う長期貸出について

学部生:12月10日(水)～12月25日(木)

院生・教職員:11月26日(水)～12月15日(月)

【返却期限日】2026年1月13日(火)

児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催
えほんの moi

今月の絵本カード(学生作)

『3びきのくま』

作・絵:いもとようこ
出版社:金の星社



※児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られています。
ぜひ見に来てくだ
さい。

好評開催中！ ※本学は連携参加大学です
第13回京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー
8月30日(土)～2026年3月16日(月)

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【12月の開館日時】

・1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月) 14:00～17:00



今月の逸品(10～12月)

『藤島昌壽名誉教授関連資料
《ピアノ・ソナタ第2番》浄書譜』

展示場所:附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **樋口 とみ子** (教職キャリア高度化センター 教授)

批判的リテラシーを評価するとはどういうことか —ニュージーランドの批判的リテラシー研究チーム(CLRT)に焦点をあてて—

樋口 とみ子

京都教育大学紀要 2025, No.147, pp.37-54
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9954>



教育学を専攻している私は「リテラシーとは何か」に関する研究を続けています。もともと「文字の読み書き能力」を意味して登場したリテラシーという言葉は、時代とともにその意味内容を広げてきました。

なかでも、本論文で取り上げた「批判的リテラシー」は、初歩的な読み書きのスキルを超えて、既存社会の価値観にしばられることなく、文字の背後に潜む支配的で抑圧的なメッセージを吟味する力を育成しようとするものです。そのため、支配—従属をめぐるさまざまな権力関係からの解放に向けて社会を変革していく可能性をもつと言われます。

その批判的リテラシーを学校教育のなかで育てようとするとき、教師はどのように子どもたちの学習状況を評価したらよいのでしょうか。評価は何らかの価値を尺度にします。しかしながら、批判的であるということは、安易に教師の意図や価値観に沿うことを良しとはしないようにも思われます。では、価値は常に権力と結びついているとみなす批判的リテラシー論においては、そもそも学習評価など不要なののでしょうか。いかなる価値づけも一つの権力であるとして、学習評価の行為そのものを意図的に排除する方向に進むのでしょうか。

本論文では、ニュージーランドの「批判的リテラシー研究チーム(Critical Literacy Research Team: CLRT)」の実践を取り上げて、批判的リテラシーを評価するとはどういうことかについて探っています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要147号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)」の森「<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>」に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2025年12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12/6 学校推薦選抜入試
12/20-12/21 蔵書点検
12/24-1/5 冬季休業

2026年1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1/6 授業再開
1/17-1/18 共通テスト
1/24-1/25 臨時閉館

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(二次元コード→)



京教図書館 News No.303 (2025年12月号)
発行日:2025年12月1日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

 国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION